Press Release

舞鶴市
MAIZURU CITY

報道関係者各位

令和６年１月18日

舞鶴引揚記念館　令和５年度　第４回企画展
「新収蔵品展～記憶の伝文～」の開催について

舞鶴引揚記念館の今年度第５回目の企画展として,令和４年度中に収蔵した新たな資料の紹介をおこないますのでお知らせいたします。
本企画展の特徴として、戦後80年を目前に、抑留などの体験談が体験者からの直接的な言葉ではなく、その子や孫へ手記や資料などを通した「文字」という形で継承されるケースも多く目の当たりにするようになりました。そうした記憶の継承の形を今回の企画展のサブタイトルに「記憶の伝文」として表しています。

1. 展示期間　　令和６年２月３日（土）～　令和６年４月14日（日）
　※展示期間中の休館日：毎週水曜日

2. 場　　所　　舞鶴引揚記念館　企画絵画展示室　（企画展は無料。別途入館料が必要です）

3. 展示趣旨
　令和４年度中に新たに収蔵した資料を紹介するとともに、当館の資料収集活動へのご理解とご協力を呼びかけるものです。

4. 展示資料　　総点数 172点（内　寄贈点数130点41件）
- 抑留体験を帰還後に描いた絵画
- 抑留中に自作したスプーンや食器
- シベリアから送られた俘虜用郵便葉書
- 抑留者の帰還促進運動で使用した襷
- 抑留中に着用していた防寒着
- 引揚証明書などの証明書類
- 引揚者名簿　など

※新収蔵品の中には「寄贈」ではなく、当館が出版社などへ貸し出した画像資料の「成果品」として収蔵した書籍なども含まれます。

5. その他
　展示資料の画像は提供可能です。舞鶴引揚記念館にご連絡ください。

SDGs未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）
〒625-0133 舞鶴市字平1584
TEL:0773-68-0836、FAX：0773-68-0370
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp

6. 主な展示資料

『帰還後に描いた抑留体験回想画』

●サイズ：たて 18.7cm×よこ 26.5ｃｍ　【全 24 枚】

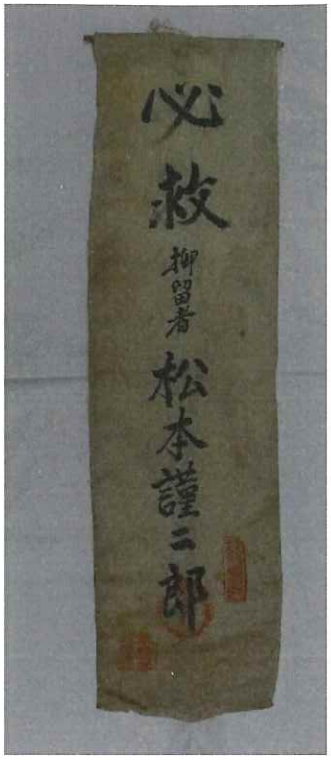
・画用紙　・水彩

4 年間の抑留体験を昭和 29 年（1954）から昭和 30 年にかけて画用紙に水性絵の具で描いたもの。イルクーツク州タイシェットの町にあった収容所に抑留された時の体験をつぶさに描いている。絵画には労働を適度にサボる様子や食料事情の悪さから毒キノコを食べて亡くなった仲間がいたことが描かれている。

絵を解説するために俳句が記されているほか、制作年も比較的帰還して間もないころに描かれている点から記録性の高い資料といえる。

寄贈者：望月　敏子（静岡県）体験者の長女

SDGs 未来都市
舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）
〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL:0773-68-0836、FAX：0773-68-0370
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp



『帰還促進運動の旗とたすき』

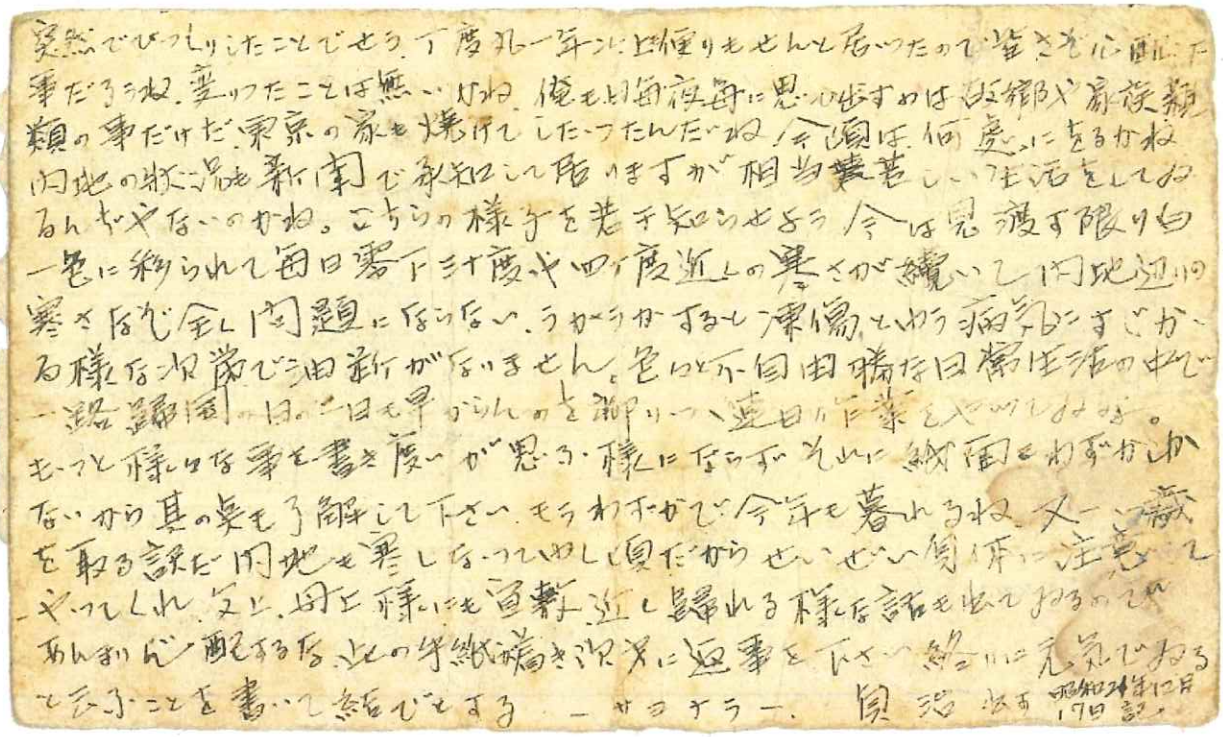
●サイズ：【旗】長さ 67.5cm×幅 18.5ｃｍ【たすき】長さ 58.2cm×幅 7cm

シベリアに抑留された息子の無事の生還を願って母親が作成したもの。引揚船が舞鶴へ入港するたびに自宅のある兵庫県和田山から、この旗を持ち、たすきを懸けてやってきたという。終戦から 2 年後に息子はシベリアから生還したものの、衰弱して社会復帰するまでに長い時間がかかったという。

上部に「必救」の文字も書かれており、終戦後、消息の分からない我が子の無事を待つ母の気持ちを知る資料として貴重である。

寄贈者：松本　渡（兵庫県）体験者の長男

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）
〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL:0773-68-0836、FAX：0773-68-0370
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp



3

『俘虜用郵便葉書』

●サイズ：【旗】たて 9.1cm×よこ 15.6ｃｍ

俘虜用郵便葉書はシベリアの抑留地と日本の家族を結ぶ往復はがきで、ソ連の赤十字社（赤新月社）が用意して日本人抑留者に配布したもの。

画像の俘虜用郵便葉書は昭和 21 年（1946）12 月にイルクーツクの収容所より発信したもの。抑留当初はほとんどの収容所でカタカナ書きで書くようにソ連側から指示され、厳しい寒さと困難な状況を書いては日本に届かないと言われていた時期だが、文中には「零下三十度、四十度」といった厳しい寒さのことや「色々と不自由」といった文言がみえ、抑留生活が厳しいことがわかる大変珍しい俘虜用郵便葉書である。

寄贈者：土田　匡彦（神奈川県）体験者の甥

舞鶴引揚記念館（担当：長嶺）
〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL:0773-68-0836、FAX：0773-68-0370
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp